

DS愛の園 新聞

デイサービスセンター愛の園

花の日 岩田幼稚園訪問



五月十九日、岩田幼稚園の年長さん達が今年も「花の日」の訪問をしてくれました。

「花の日」とは、キリスト教の行事の一つで、子ども達の祝福式であり、六月の第二日曜日が花の日として祝われます。今から百年ほど前、アメリカの教会で『子どもたちが神様に祝福されるように』とバラの花を飾り、花と一緒に子どもたちの大切さを訴えた事が起源だそうです。



抱えて皆さんに配ってくると、あちらこちらで笑顔の花が満開になりました。やっぱり子供は世の中の宝物です。

人ひと

今回ご紹介するのは、朝来にお住まいの小倉宮子さんです。小倉さんは四国は徳島の生まれで、一七歳頃に田辺にやって来られました。ご本人いわく「平成十五年の一月から来させてもらって、いつも言いたい放題言わせてもらってます。」との事(笑)センターに来た時は大いに言いたい事を言っただけでしたね。(C)



宮子さんが今でも思い出すのがお母様の事。このお母さん、裕福だった九州の実家を十六で飛び出し、阿蘇山で牧場を経営したり、製紙工場の女工さんの教師をしたり。波乱万丈な方だったそうで。小さい頃から離れ離れに暮らしておられ、お母さんとは年に数回しかお会いできなかったそうです。徳島で育った宮子さんは、田辺の駅前で食堂を営み始めたお母さんの手伝いをするようになり、この紀南に来られました。そ

畑レポート

5月に入り随分と蒸し暑くなってまいりました。センターの畑では「うすいえんどう」の収穫です。あんなに小さかった苗が今や人の背丈ほどに伸び、皆さん背伸びをしながらの作業となりました。



んな宮子さんが嫁いで来た朝来の家では、大おじいさんから兄弟まで合わせて十人家族。一斗缶に米を入れてもすぐに無くなってしまいうような状態。広い田畑も抱えて、草を刈った事も無ければ鎌を持った事も無い宮子さんには衝撃的だったそうです。そんな大変さをわかってか、お母さんは「三年間はうちには出入り禁止」と宮子さんに告げ三年が経つまでは敷居をまたがせず、家財道具の一つの持ち出しも許さなかったとの事です。子供の為に本当にそれを実行したお母さん、宮子さんいわく「筋金入り」だそうで。「母は強し」その言葉を地で行く様なお話で、感服致します。



毎回思うのですが、自然の力というのはえらいものです。水と太陽の光だけで小さな種が何十倍・何百倍の大きさになって、きつちりと同じ形の実が生ってくる。普段何気なく見ている景色も、口にしていられるのも全てそうなんです。自然の恵みに感謝です。

五月は

五月に入り次々と辺りの田んぼが青い苗で埋まってくるのを眺めると、いい景色なんです。「あ、今年もとうとうこの季節がやってきた」とつい思ってしまうます。

私事ですが昨年まで続けてきた稲作を今年も諦めませんでした。日本の食料自給率に少しでも貢献出来ればと稲作を初めて十六年。仕事をしながら休日の楽しみでもあったんですが、全く採算が合わないんです。これからは機械を持たない我が家では苗を購入し田植えと稲刈りを人に頼む方法で米を作ってきました。年間の出

懐かしの大浜



五月一日。今日は田辺の扇が浜ドライブです。皆さんほとんどの方が若い頃に訪れた事がある場所(行って初めて分かりました)だそうで、今は市役所があり、大型駐車場や海水浴場も出来ています。何人の方が「ワシ



浜風を浴びながら、思い出話

費が結構掛かります。もし大豊作で十俵くらい収穫があったとしても大赤字です(悲)そこにきてTPPやらなんやらが加わると正直日本の農業はいったいどうなっていくんだろうと思ってしまうます。今は本当に便利な世の中になりました。昔の稲作を知っている皆さん方には「贅沢な」と御叱りを受けるかもしれませんが、「一番いい土地は田んぼにして、二番目にいい土地は畑に。家を建つのはその次に空いた土地なんや」そう教えてくれた祖母の顔を思い出しました。今月は終始私事で、すみません(C)

DS愛の園 ご利用状況

- 月曜日 × 満員です
 - 火曜日 ○ 残りわずか
 - 水曜日 × 満員です
 - 木曜日 ○ 残りわずか
 - 金曜日 ○ 残りわずか
 - 土曜日 × 満員です
- ☆送迎については
ご相談下さい

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬316-56

TEL (0739) 47-0105
FAX (0739) 47-4329

ホームページ
http://shinai.or.jp

「キリストの愛を以って
互いに仕える」